

<2020 オリエンテーションコンクール 開会挨拶>

このオリエンテーションコンクールは生光学園中学校・高等学校にとって、最も大事なイベント・行事のひとつです。歴史を振り返れば平成11年、今からちょうど20年あまり前にこのコンクールが生光学園でスタートしました。最近でこそ体育大学の集団行動の様子がメディアで取り上げられ注目されていますが、ずっと以前から生光学園では取り組んできました。

今年で22回目となる、生光学園オリエンテーションコンクールは皆さん方の先輩たちが、これまで“真剣に”“本気で”取り組んできてくれたおかげで、良き伝統となり、そして22回も続いてきた大きな要因だと思います。

生光学園はできて、73年が過ぎました。創設者の美馬昇先生は、“社会貢献のできる人材の育成”わかりやすく言えば“社会のお役に立てる人間を育てる”という願いをこめてこの学園をつくられました。今、皆さん方が日々の学校生活や部活動を通して鍛えている 礼儀・挨拶・マナーといったことは、将来、社会人として生きていく上で、とても大切なことです。

建学の精神を唱和し、学園歌を覚え、そして愛校心をしっかり磨いて卒業して行ってください。自分の学校を誇りに思い、そして大切にできることは、自分にプライドを持ち、真に自分自身を大切にする心につながるはずです。

皆さん方のひたむきな姿は、紛れもなく「日本一 真摯(しんし)な中学生・高校生！」だと思います。しっかり頑張ってください。

今年も特別審査員として、市原理事長先生・美馬学園長先生にお越し頂いております。学園トップの先生方に率先してこのイベントに関わって頂けますことに、心より、敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

実行とは、「やること」ではなく、

「やり抜く!」「やりきる!」「やり通すこと!」・・・だそうです。クラス一丸となって、最後までしっかりやりきってください。

令和2年7月17日 中学校校長 佐近隆義